

令和6年度 杭名小学校 働き方改革に係る取組

【「学校における働き方改革加速プラン(山口県)」4つの柱と12の取組】

業務の見直し・効率化	校務の効率化	勤務態勢等の改善	学校・家庭・地域の連携・協働
①適正な勤務時間と継続的な状況把握 ②事業・校務等の精選 ③意識改革や業務の効率化を図る研修の充実	④統合型校務支援システムの効率的な運用 ⑤校務におけるICT活用促進	⑥メリハリのある働き方のルール化 ⑦教員業務支援員の配置 ⑧部活動指導員の配置と部活動の適正化 ⑨ICT支援員の配置	⑩学校・教員が担う業務の在り方の整理と保護者・地域への理解促進 ⑪部活動改革の推進 ⑫コミュニティ・スクールの連携・協働体制を活かした地域のネットワークの強化

【令和6年度までの本校における時間外在校等時間の状況】

<1か月あたり45時間超、年360時間超の教職員の割合>

年度	区分	本校	県平均
		割合	割合
令和3年度	45時間超	35.0%	38.0%
	年360時間超	80.0%	65.4%
令和4年度	45時間超	16.7%	36.1%
	年360時間超	40.0%	64.5%
令和5年度	45時間超	3.3%	
	年360時間超	0.0%	
令和6年度 (11月まで)	45時間超	2.8%	
	年360時間超		

<教職員一人あたりの1か月の平均>

年度	本校	県平均
令和3年度	36.6時間	39.1時間
令和4年度	29.3時間	38.4時間
令和5年度	19.5時間	
令和6年度 (11月まで)	20.4時間	

【本校の主な取組】

業務の見直し・効率化	校務の効率化
<ul style="list-style-type: none"> 出退勤時刻のデジタル管理 標準授業時間数に則った時間数 業務時間確保のための校時程の弾力化 学校行事や行事内容の精選 通知表様式の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 欠席連絡のデジタル化 学校評価アンケートのデジタル化 配付文書のデジタル化 メール配信による学校情報の提供 授業や家庭学習でのICT活用
勤務体制等の改善	学校・家庭・地域の連携・協働
<ul style="list-style-type: none"> 学校閉庁日の設定 長期休業中の時差出勤制度の設定 ICT支援員の配置 下校時間繰り上げによる放課後の時間確保 (週あたり2時間50分増) 登校時刻の設定(7時40分以降) 	<ul style="list-style-type: none"> 朝学支援ボランティアによる支援 読み聞かせへのボランティア支援 登下校見守りボランティアによる支援 外部人材(ゲストティーチャー)の活用 授業研究参観時の自習見守り クラブ活動のボランティア

※朱書き・・・今年度より実施